

「読み替え」と「書き換え」

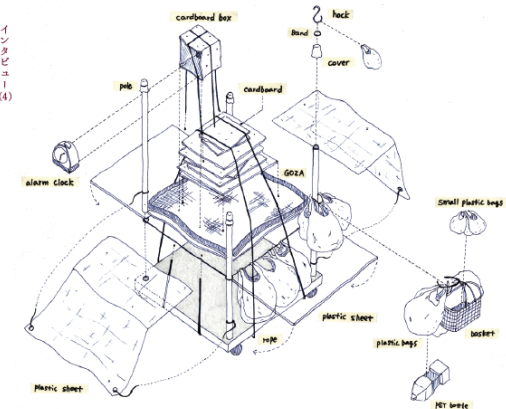
署名のある文は「**文体統一**」といふ點でフランクの小説家レーモン・ノーの著作です。あるひとが短くストーリーが簡潔、とうとう名目になり九十九歳のそれと云ふ異なるところで知られてゐる。

私はこの書の中で行われている、「**書き換へ**」と**讀み替へ**」に興味をもちます。

ある體裁や市井の間には、しばしば用ゐられる形式ルールがあるが、それは誤解されたりすることもある。しほばそのようにして読者のために後述した例に於いて空間は、従来そのことをよきものなのへと持つ特定の作用があることに歸うからである。

この二つの場合の中で「書き換へ」は、それを行う各のプレイヤーが能動的にその空間に加へていくことが不可欠であり、レイアウトはその空間について自分から手を取りやりて行く。常にこのラフワークが必要であります。

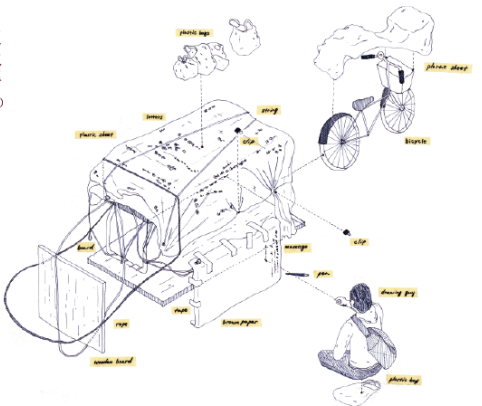
私らの體裁こそが、これがからの世の中の中心で動いているんだじやないかと思ふのである。

[illegible]

空き缶蒐集家の荷台

昨日の雨で色々濡れちゃった。
そりやもう寒かったよ。
だから吊るして乾かしてる。乾きやしないけど。
伯? そりや重い。もう慣れたけどな。
僕は明後日まで来ないからな。
置いてとくと泣かれるし、持ち運ばなきゃならぬ。
でもやっぱり重いな!

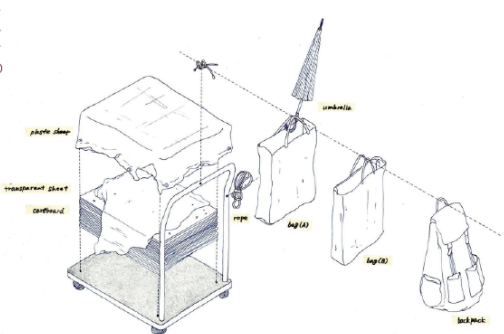
(50代男性 十月 公園にて)



空き缶蒐集家の荷台・二

今日は、コシを集めてたんだよ。そしたら雨で降ってきた。中に入ってる段ボールと毛布が濡れちゃうからな。これ、傘。濡れた服着るほど嫌なことだよ、ほんと。今日はガブ持ってたんだよ。薬品採取の日だからな。なんかあれはコシに入れとくんだ。いつ何に使うかわかんねえからな。明日は業者がくるからな。つとこの飯のかたまりをおるぜ。

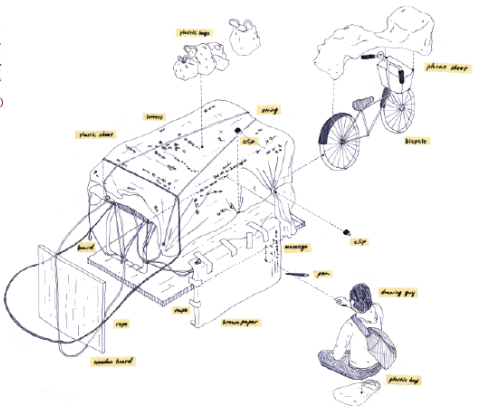
(60代男性 七月 公園にて)



神経質な人の荷台

雨で濡れると使えなくなるし、重くて大変なんですよ。必要ときには一枚ひっぱがして使えばいいでしょう。荷物にいろんな物をくっつけてる人いいでしょう、私あれあんまり好きじゃないんですよ。自分の物はしまっておきたいの。盗まれちゃっても気づけないでしょう。ちよっと神経質なのかな、ばく。

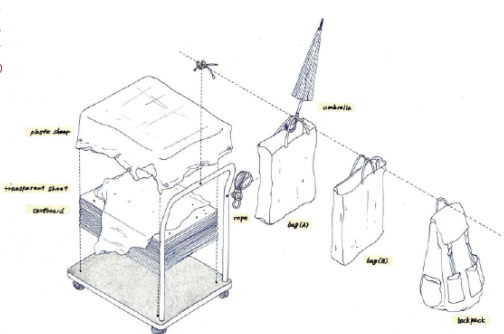
(40代男性 八月 路上にて)



第1次大正星の存在

[illegible]

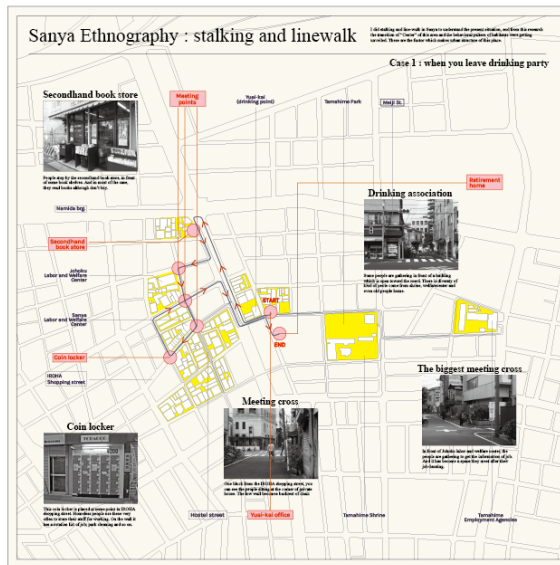
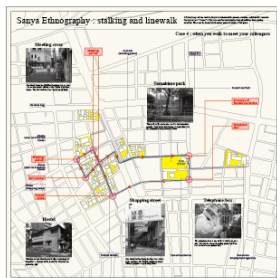
30代男性 十月 路上にて



新陳代謝する荷台

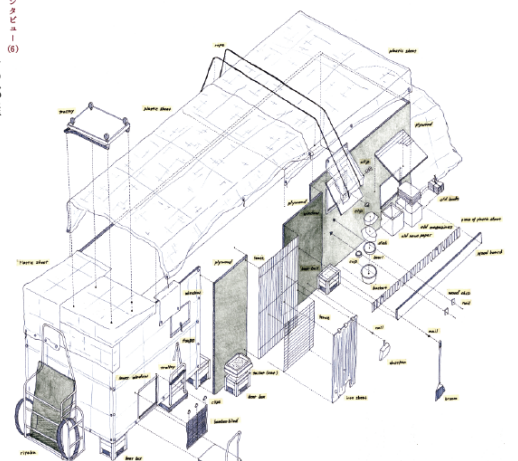
歩きにくくないよ。
それぞれの段にちゃんと分けて入れてあるよ。
古新聞もらへて銀貨までね。捨てて銀がなくなつたら入れたれる。
それで大仕事足るの。
そこそこの段にちゃんと書いてあるよ。**身体拭くのも書いてあるよ。**
地の神間といふはの方に移るから、話でも。
ただあそこはずつと置いておけないからね。
起きたらたんだてこれに載せてかなかなやならないの。
ま、布間あげたてと同じにやらないんね。

(50代男性 九月 路上にて)



私は戦場を決定するに際し、その場にいる場所をでるだけか、**スピンディング**で履行します。スピンキングをすることで、その場にいる場所をでるだけと違って、利用する目的のない目には見えない、その場所特有の**独特な特長や個性**を**あきらかに出す**ことで、そこから立ち上がり、それら環境を記述していくことで、**スピンディング**でワグを作るのと同じく、その場に関するさまざまな**特長や個性**、あらゆる環境を**表現**することによって、山岳は、4日間9つのホームレインのリストスピニングです。その中でさらに細かに場分することによって、より細かく、より多岐にわたる地形上に表示しています。これらすべてのケースを本設計にあげる場合であり、いづれは、前店席を考慮しました。

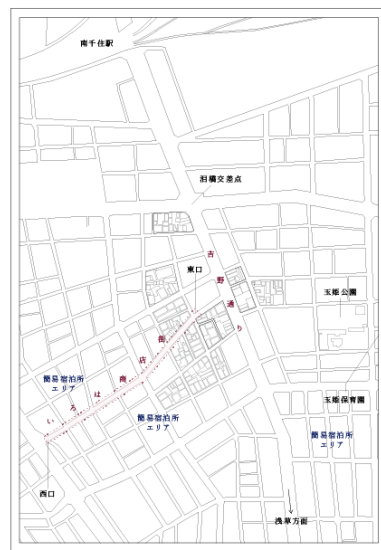
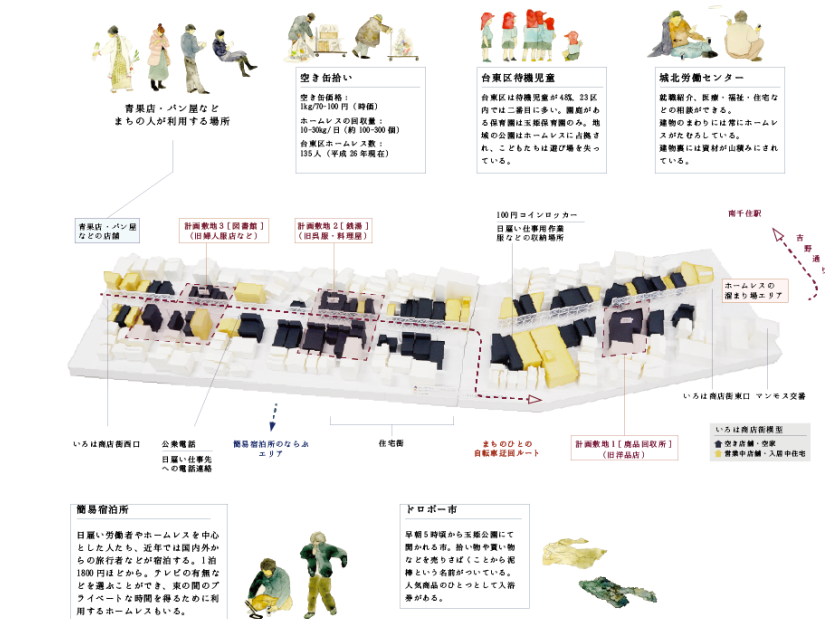
(三) * 5つのストーリーキングマップ



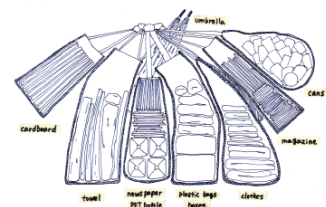
ヒロセさんの部屋

これが見たいの？ 芝居はヒールシートを切つたりして作つもの。簡単よ？
なに？ 膠の貼付方が難解だつて？ そんなに初めて言われたよ。

この公演は俺の嫌ひなものなんだ。これは東上りって、部だつてワケ。
部屋を出ればトレレも洗所もある。（公演とトイレを指し示しながら）
が寝ながら見えんのか。だからこの奥は寝床。
もしもんで移動するやつでいていけるのは、大事なんだよ。トイレの両側で
だからって移動すると同時に見えんのか。ピントをミスターに調整しての
きりあるや。遠いところ不便だ。



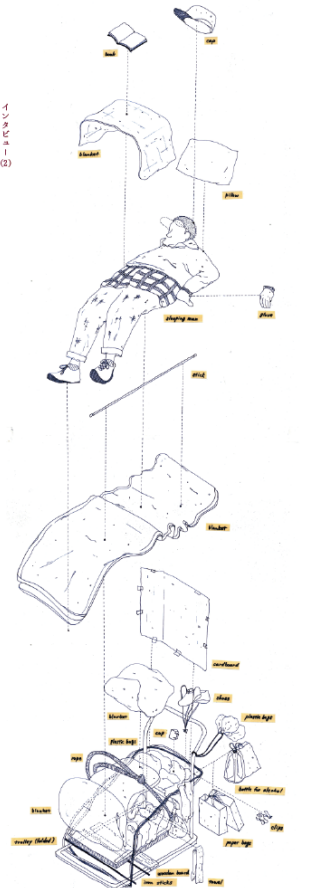
いろは商店街

[illegible]

生活の東
インスピレーション (1)

荷台なんて重たいわしいものなんか
俺は持たないんだ。でも
あじぱねるのやうなヤツ、
ヤツボにあらねえやうにして、
腰がかけられないやうにして、
腰がかけられない場所でないけりやア
心配で移動できやアネ。

少しづつは軽くても、
自分の手で持ち運べるのがイチバンよ
ひとつにまとめるやアアアアアアアア
面倒なときめい、つた外やないして、
ひとつづつにつけつけやきやいよ、
台かと違って運ばれることないしな
身軽なもの。



(五) * 設計のきつかけ

「脱ぐ」ということ、
「纏う」ということ

衣服としてのシエルター

設計者にとりあたり、ホームズの人々にとつての一服と、一行為に目撃しました。

彼は家持でない代わり、衣類や肉片の持ち物やシェルターとしてまわつてます。まわっているヘルパーを「脱ぐ」という行為はききかたに不可行ない行為である。一方で、路上生活者にとつて外に脱身する機会にインタビーターという、非常に難しいものがあります。

脱ぎに「衣類を脱ぐ」といふことに対する大きな抵抗感を持っている人々にも、衣類を脱ぐ」といふこと、冬場の身体とときや水浴びをする

まとっているもの

でも遅延しなければならないそれらの重み。さらには、複雑な人生の
パズル・クワントや、しばしば社会から投げかけられる複雑など。有形
無形の様々なものをまといっているのではないのでしょうか。

わたしはこのような様々なしがらみを「脱く」ことができる場所、
また「脱だ」後に足らないものを「還る」ためのもよおした機会
がでないのだろうか、と思ったのです。

住民とホームレスのあいだの境界

圖書館

情報、まちの中における居場所を醸す

轉運：

衣服、におい、肩書きを脱ぐ

應品同聲販：

空き缶、自転車、そしてそれらの重みを脱ぐ

魔品同

こどもたちによる遊び場の回収

周辺住民やバックパッカーなど旅

買い物の合間の休息

文体練習法

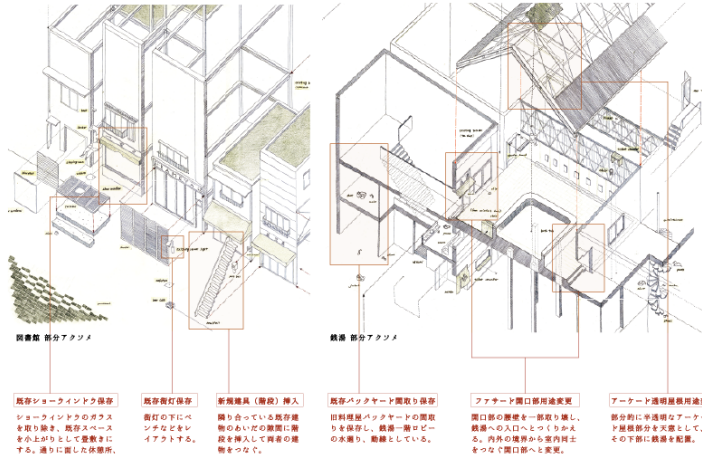
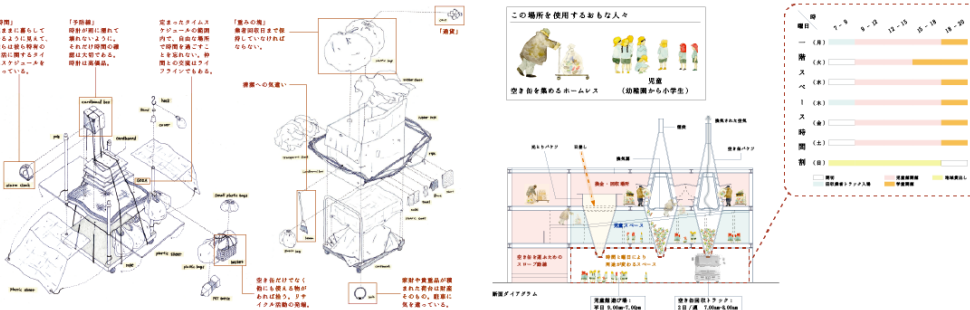
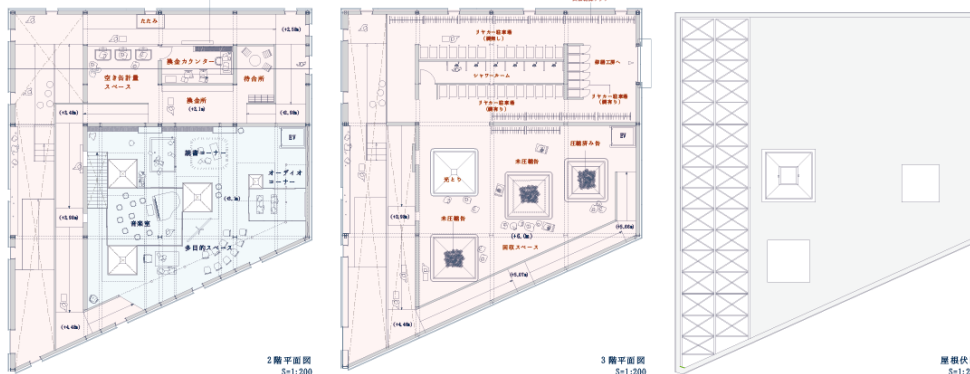
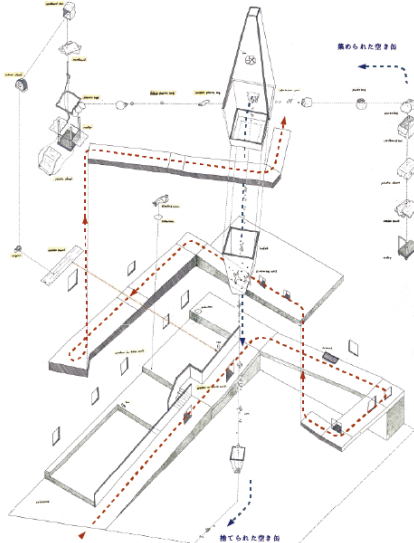


(五) * 設計のきつかけ

(六) * 設計について ① 計画敷地 ② 廃品回収所

重みを「脱ぐ」

ホームレスの人たちから、さまざまな働きを求められ、多岐にわたります。たとえば、街路取壊事業のひとりで、商売につれてたき炭をいっぺん、二つと炭をいっつも載せて歩いていく。この労働が、山ごとの山ごとの炭の取壊であり、財産の重みがあるので、少ししながら、貴重品を常にかきさらなければならぬ。そして、山を毎時多く歩くには相当の労力が必要であり、生活をもたないで、身体をもたず、も病持たせ、また、大いなる果敢に、たき炭を運ぶ。さらに、たき炭を街から市場奥に、よばせは奥奥へと、奥にも奥にもとっていき、これらのだんだんと、**奥**、この奥の奥の奥が、この奥の奥の奥で、



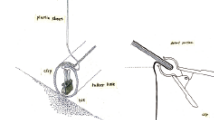
「輸入」を保持していくと試みた。

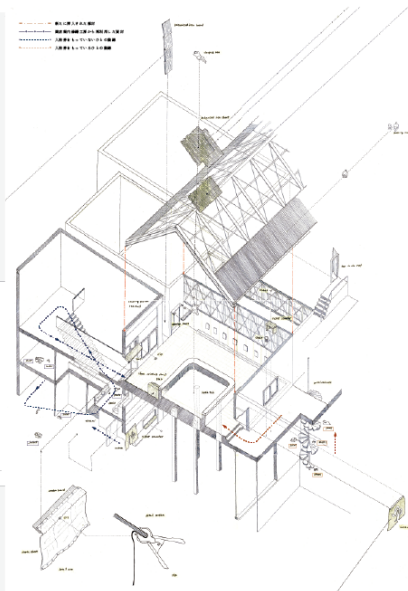
本文には「輸入」は「輸出」の対義語となる「文」である。この「文」は、読み手によって異なる文脈によって異なる意味を持つ。読み手によって異なる文脈によって異なる意味を持つ。読み手によって異なる文脈によって異なる意味を持つ。

「輸入」を保持していくと試みた。

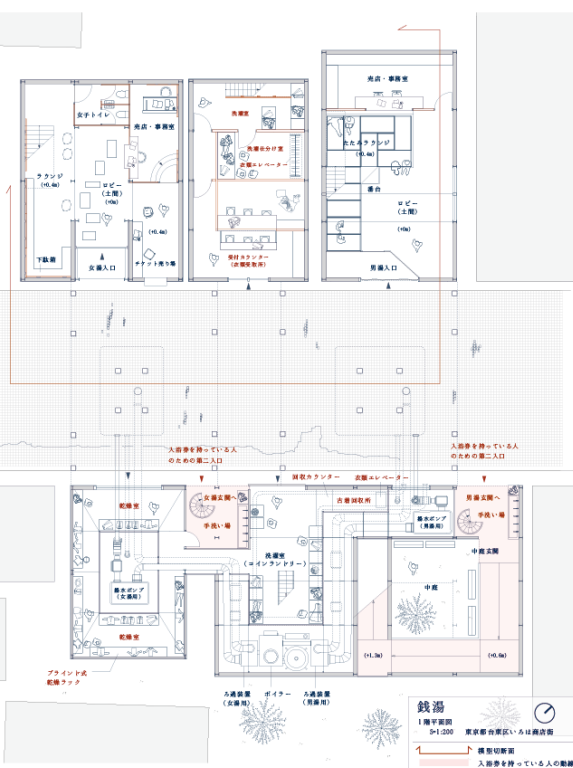
	図書館	銭湯	商品回収所
プログラム	△	○	○
スーパ	—	—	—
マテリアル	○	○	△
柱梁	○	○	△
フナナード	○	○	—
間取り	△	○	—
建築	△	○	—
外内装材	○	○	△

表1: 読み替えの対象と内容、その評価





「裸」になること

[illegible]

足りない物を「着る」こと

[illegible]